

概要版

第2期 明石市国民健康保険保健事業実施計画 (データヘルス計画)

平成30年度～平成35年度



策定の目的

明石市においては、平成27年度から平成29年度までを1期とする明石市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）を策定し、保健事業に取り組んできました。

この度の第2期 明石市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）は、第1期における実績を評価し、見直しを図ることにより、被保険者の健康保持増進など保健事業をより一層効果的・効率的に実施するため、目標、実施方法、評価方法等を規定する計画として策定しました。

なお、本計画においては、保健事業の中核をなす特定健診・特定保健指導の実施方法を定めた

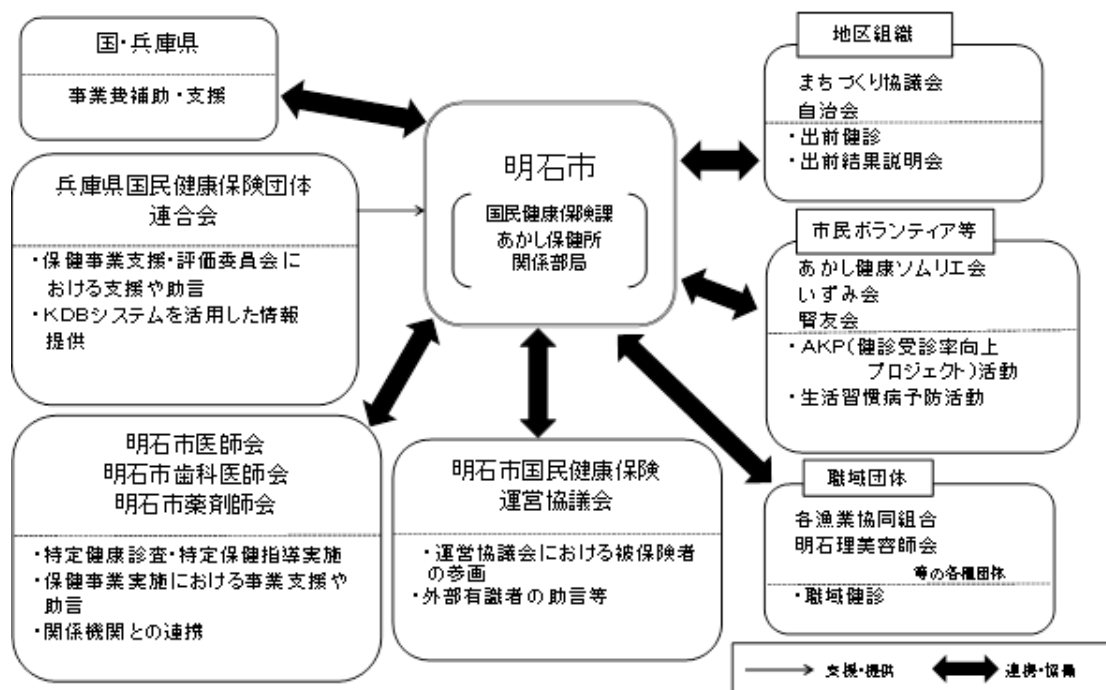
「第3期特定健診等実施計画」と一体的に策定しました。



実施体制及び連携

本計画は国民健康保険課が主体となり、あかし保健所等の関係部局と連携を図りながら取り組みます。また、兵庫県国民健康保険団体連合会に設置されている保健事業支援・評価委員会や明石市国民健康保険運営協議会等へ報告を行い、必要に応じて助言を求めるなど連携を図ります。

実施体制図

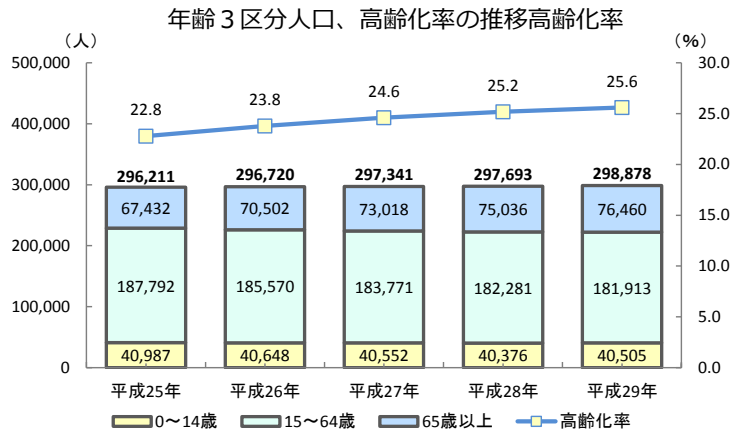


明石市の状況

■ 人口構成と高齢化率

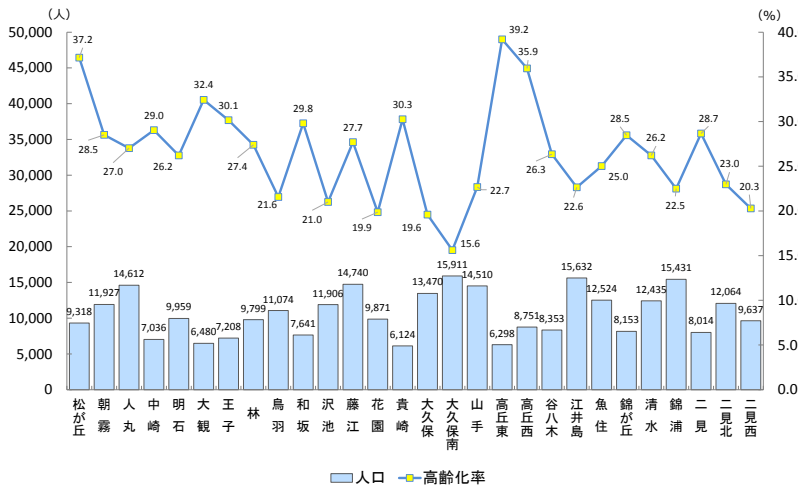
明石市の総人口はこの5年間で増加傾向にあり、平成29年は298,878人となっています。

65歳以上の高齢者が占める割合（高齢化率）についても、平成25年以降22.8%から平成29年では25.6%と2.8ポイント増加しています。



資料：明石市年齢別人口（住民基本台帳） 各年4月1日現在

地区別人口、高齢化率



資料：明石市年齢別人口（住民基本台帳） 各年4月1日現在

■ 地区別人口

地区別人口では、大久保南が最も多く、次いで江井島、錦浦となっています。

高齢化率では、高丘東が最も高く、松が丘、高丘西も35%を超えています。

人口の多い地区は高齢化率が低く、人口の少ない地区ほど高齢化率が高い傾向にあることがわかります。

■ 平均寿命と健康寿命

明石市の平均寿命は、男性で79.3歳、女性で86.0歳となっています。また、健康寿命は男性で65.5歳、女性で67.0歳となっています。（平成28年度）

平均寿命と健康寿命との差が、男性では13.8年、女性では19.0年もあり、長期にわたり健康面に不安や問題を抱えていることとなります。この期間を短縮するための取り組みが必要です。

※健康寿命とは・・・日常生活を自立して制限なく過ごせる期間と定義されており、平均寿命から介護が必要な期間を差し引いたもの。

資料：KDBシステム（平成28年度）

■ 死因別死亡数

死因別の死亡数の割合では、がん、心疾患、脳血管疾患の順で高く、これら3つの死因が死亡者数全体の半数以上を占めています。

死因別死亡数上位5位

明石市			兵庫県			全国		
順位	死因	割合	順位	死因	割合	順位	死因	割合
1	がん	30.4%	1	がん	29.7%	1	がん	28.5%
2	心疾患	13.4%	2	心疾患	15.0%	2	心疾患	15.1%
3	脳血管疾患	11.3%	3	肺炎	8.5%	3	肺炎	9.1%
4	肺炎	7.7%	4	脳血管疾患	7.9%	4	脳血管疾患	8.4%
5	その他の呼吸器系の疾患	6.0%	5	老衰	6.7%	5	老衰	7.1%

資料：平成28年度兵庫県保健統計年報(兵庫県・明石市)人口動態統計(全国)

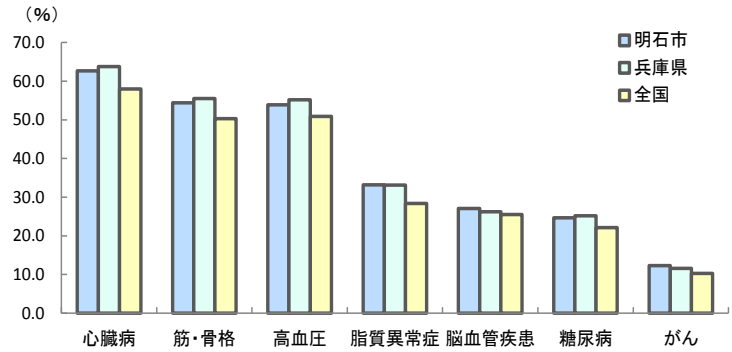
介護保険の状況



■ 要介護認定者の有病状況

要介護認定者の疾病別有病率では、心臓病、筋・骨格系疾患、高血圧が全体の半数を占めています。

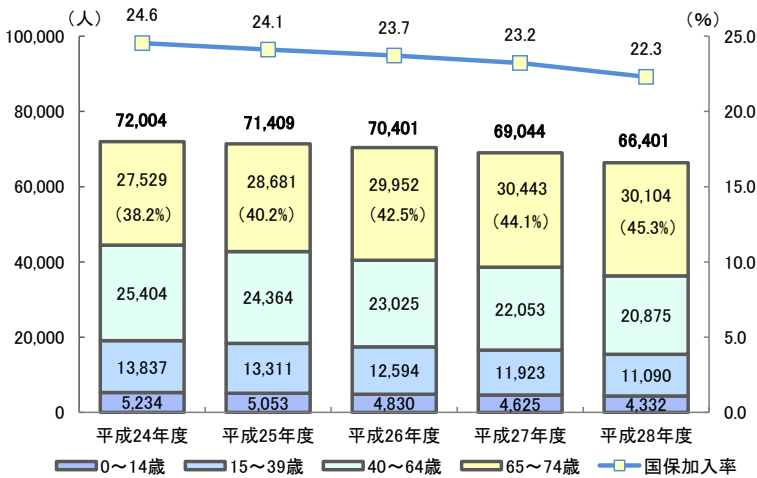
要介護認定者の有病状況



資料：KDBシステム（平成28年度）

国民健康保険の状況

国民健康保険加入者の推移



資料：国民健康保険実態調査

■ 加入者の状況

平成28年度の国民健康保険加入者は66,401人、加入率は市民全体の22.3%となっており、経年比較すると加入者数、加入率ともに年々減少しています。

65歳未満の国保加入者が年々減少している一方、65歳から74歳の加入者の占める割合は増加しています。

■ 医療費の構成

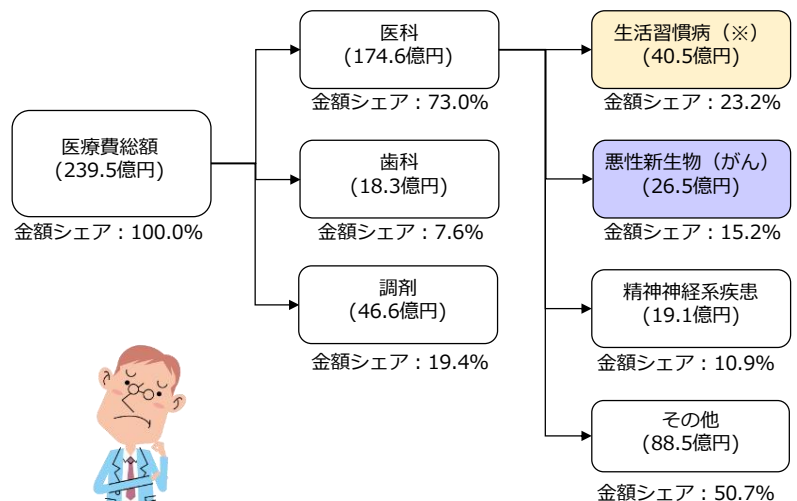
明石市国民健康保険加入者の年間医療費の総額は239.5億円です。

内訳は、医科174.6億円、歯科18.3億円、調剤46.6億円です。

医科の内訳では、生活習慣病が40.5億円、悪性新生物26.5億円、精神神経系疾患19.1億円で、約半数を占めています。

※生活習慣病・・・高血圧性疾患、糖尿病、脂質異常症、脳血管疾患、虚血性心疾患、動脈疾患、肝疾患、腎不全、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、高尿酸血症及び痛風を含みます。

医療費の構成



資料：レセプトデータ（平成28年度）

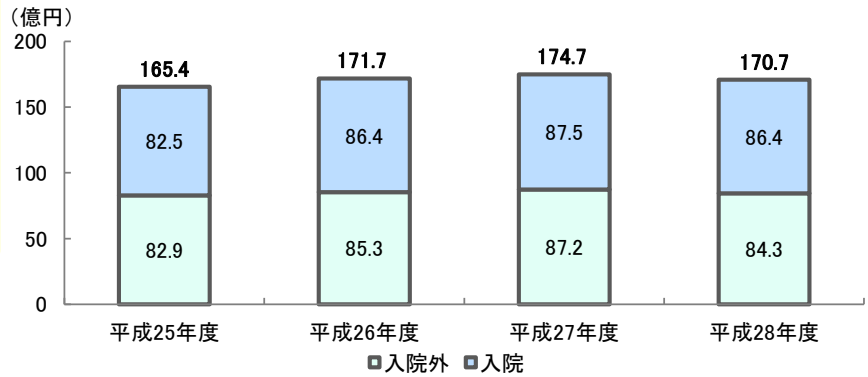


■ 医療費（入院・入院外）の状況

医療費（入院・入院外）の状況は、平成26年度以降170億円を超えている状況が続いており、入院、入院外の医療費は同規模となっています。



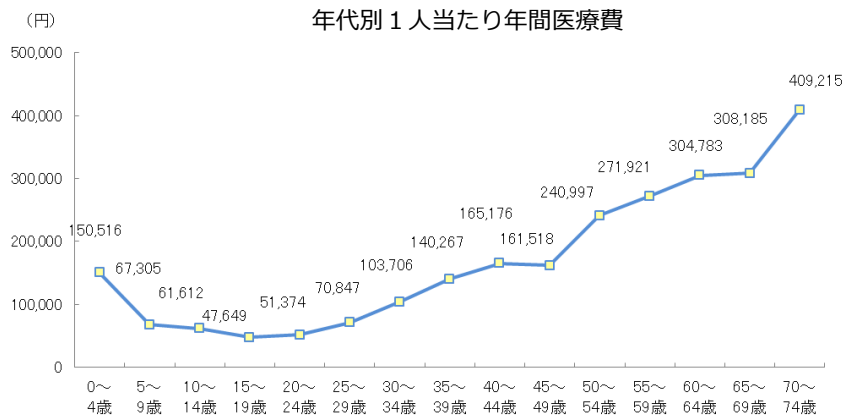
医療費（入院・入院外）の推移



資料：レセプトデータ（医科）

■ 年代別医療費の状況

入院・入院外をあわせた年代別国保加入者1人当たり医療費では、15歳以上になると、年齢とともに増加しています。



資料：レセプトデータ（平成28年度・医科）

■ 疾病別医療費の状況

入院にかかる医療費では、統合失調症、脳梗塞、不整脈の順で高くなっています。骨折、関節疾患をあわせると611,052千円となっており、筋・骨格系疾患の医療費が高いことがわかります。

入院外にかかる医療費で上位の糖尿病、高血圧症、慢性腎不全は生活習慣病であり、これらが重篤化することで入院に至る可能性が高くなるため、早期発見・早期治療が重要となります。

疾病別医療費（上位5位）

	入院		入院外	
	疾病	医療費(千円)	疾病	医療費(千円)
1	統合失調症	829,109	糖尿病	1,125,306
2	脳梗塞	363,896	高血圧症	1,007,486
3	不整脈	312,519	慢性腎不全（透析あり）	668,598
4	骨折	312,290	脂質異常症	654,208
5	関節疾患	298,762	関節疾患	536,792

資料：KDBシステム（平成28年度）

特定健康診査

特定健康診査（以下「特定健診」という）は生活習慣病予防のため40歳から74歳の人を対象にメタボリックシンドロームに着目した健診です。明石市では「健康まもりタイ健診」の愛称で特定健診を実施しています。



ロゴマーク



■ 年度別受診率の状況

特定健診の受診率は、平成28年度で28.0%で全国、兵庫県を下回っており、さらなる受診率向上の取り組みが必要です。

特定健診受診率の推移

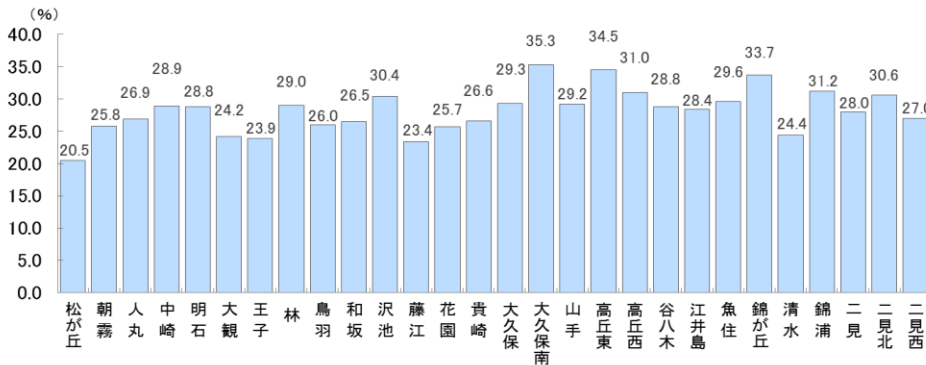
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
受診者数（人）	11,112	12,001	12,747	12,606	12,791
明石市受診率（%）	23.4	24.9	26.3	26.6	28.0
兵庫県受診率（%）	32.5	32.8	33.8	34.6	34.8
全国受診率（%）	33.7	34.2	35.3	36.3	36.6

資料：特定健診等実施状況（法定報告）

■ 地区別受診率の状況

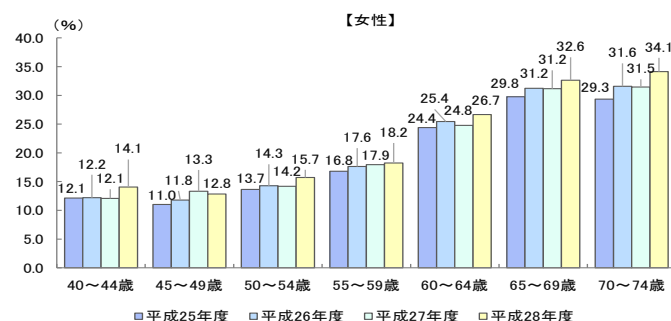
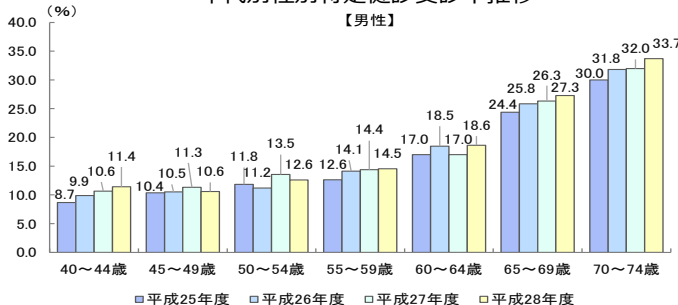
特定健診の地区別受診率は、校区（小学校区）によって大きな差が生じています。

小学校区別特定健診受診率



資料：特定健診データ（平成28年度）

年代別性別特定健診受診率推移



資料：KDBシステム（平成28年度）

■ 年代別受診率の状況

年代別の特定健診受診率は、40～50歳代は10%台と低く、年齢が高くなるほど受診率も高くなる傾向にあります。

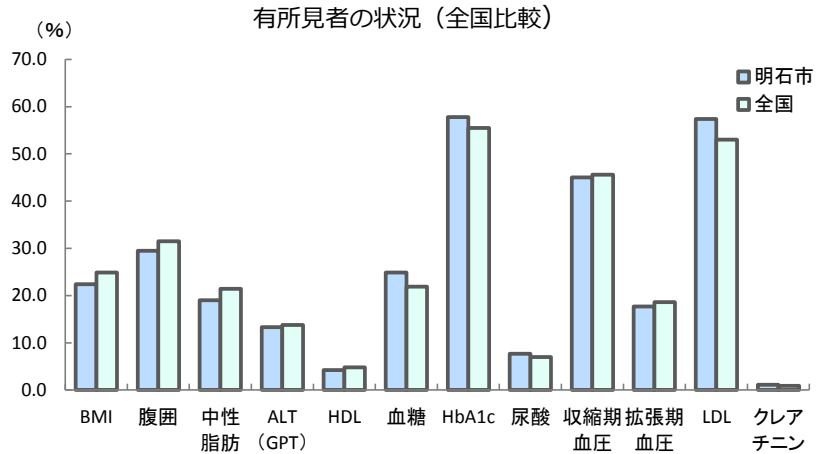
また、どの年代においても、女性の受診率が高い傾向にあります。



特定健康診査結果の状況

■ 有所見者の状況

特定健診の結果、多くの項目で有所見者が見つかっています。HbA1c、LDLコレステロールでは、受診者の半数以上が有所見者となっています。



資料：KDBシステム（平成28年度）

■ 生活習慣の状況

特定健診の問診項目の喫煙・飲酒習慣は、兵庫県平均よりも低いですが、体重増減の項目では兵庫県平均より高くなっています。また、生活習慣の改善に対する意欲については、改善意欲があり、かつ改善を始めていると回答した方が、兵庫県平均・全国平均の約2倍となっています。

生活習慣の状況（問診）

問診項目		問診票より (%)		
		明石市	兵庫県	全国
運動習慣	1日1回30分以上の運動習慣なし	52.4	57.5	58.7
	1日1回1時間以上の運動習慣なし	46.9	49.9	46.9
食事	食事速度が速い	26.0	28.9	25.9
	就寝前に食事を週3回以上摂る	12.3	13.5	15.4
	夕食後に間食を週3回以上摂る	11.1	12.4	11.8
	朝食を週3回以上抜く	5.9	6.6	8.5
飲酒	お酒を毎日飲む	26.0	27.1	25.6
喫煙	たばこを習慣的に吸っている	11.2	12.9	14.2
体重	20歳時の体重から10kg以上増加	31.3	28.7	32.1
	1年間で3kg以上の増減	19.5	18.8	19.5
生活習慣の改善意欲	改善したいと思わない	29.4	30.9	30.9
	改善したいと思う	16.3	27.0	27.2
	改善したい もう取り組んでいる	29.0	11.7	13.0
	改善したい 取り組むつもり（6か月未満）	6.0	8.0	8.1
	改善したい 取り組むつもり（6か月以上）	19.3	22.4	20.8

資料：KDBシステム（平成28年度）



特定保健指導

特定健診の結果により、BMI 腹囲 血圧 血糖 脂質 喫煙などの項目で、メタボリックシンドロームのリスクの高い方へ特定保健指導を行っています。

特定保健指導の対象者（階層化）

腹囲	追加リスク ①血糖 ②脂質 ③血圧	④喫煙歴	対象	
			40～64歳	65～74歳
≥85cm (男性) ≥90cm (女性)	2つ以上該当	/	積極的 支援	動機付け 支援
	1つ該当	あり なし		
上記以外で BMI ≥ 2.5	3つ該当	/	積極的 支援	動機付け 支援
	2つ該当	あり なし		
	1つ該当	/		

(注) 喫煙歴の斜線欄は、階層化の判断が喫煙歴の有無に関係ないことを意味する。



動機付け支援

健診結果をもとに毎日の生活を振り返り、生活習慣の中で見直せる項目を一緒に探します。



積極的支援

動機付け支援の内容に、電話や面接の回数を増やし、より細やかなサポートをします。

終了率の兵庫県、全国との比較

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
明石市終了率 (%)	27.4	31.0	32.0	30.0	28.1
兵庫県終了率 (%)	19.1	20.1	21.5	22.3	23.3
全国終了率 (%)	19.9	22.5	23.0	23.6	26.3

資料：特定健診実施状況（法定報告）

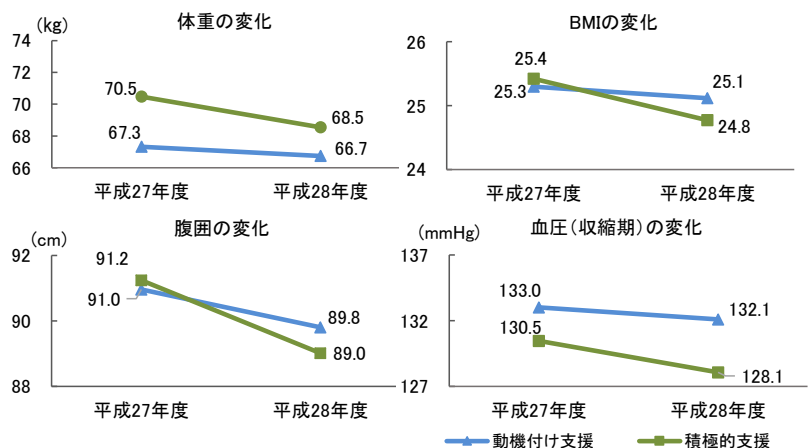
■ 特定保健指導終了率

平成28年度の終了率は28.1%です。近年、30%前後で推移していますが、メタボリックシンドローム減少を目指して、利用勧奨に努めます。

■ 特定保健指導利用者の状況

特定保健指導を利用した方の翌年の特定健診結果（平均値）の変化をみると、体重、BMI、腹囲、血圧（収縮期）の項目において減少しています。

特定保健指導利用者の変化の状況



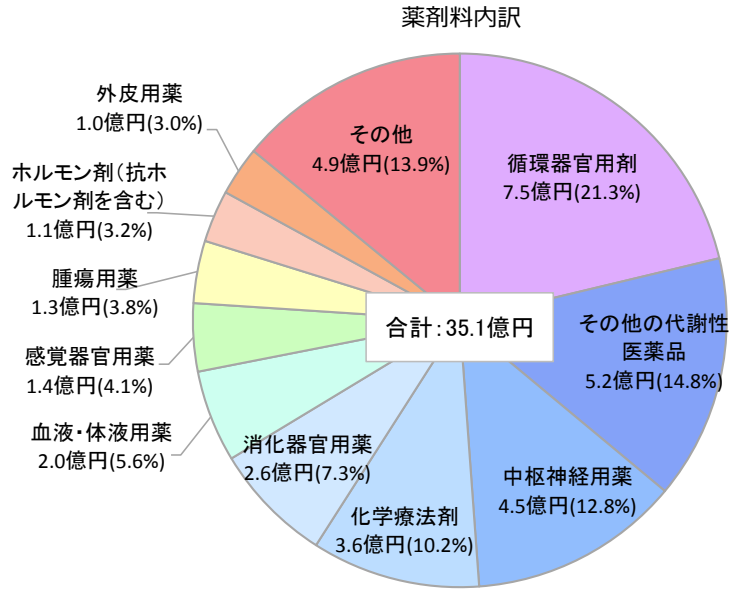
資料：特定健診データ、特定保健指導データ

医薬品の状況

■ 薬剤料の状況

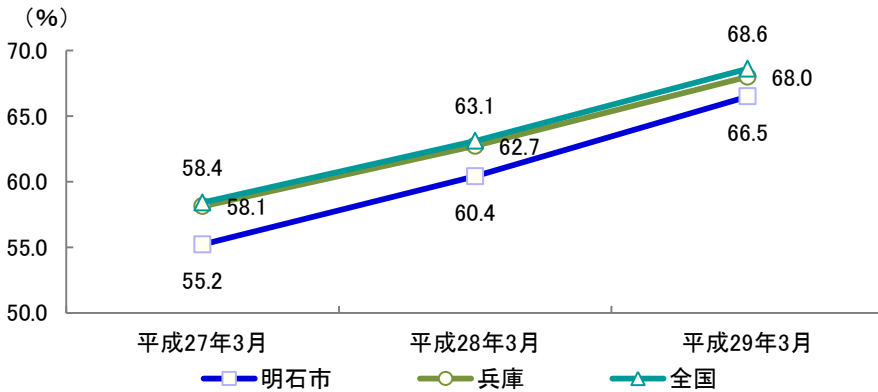
調剤費の多くは薬剤料であり、その金額は1年間で約35億円になります。

最も多い薬剤料は、循環器官用剤（降圧剤など）で、次いでその他の代謝性医薬品（糖尿病用剤など）となっています。



資料：レセプトデータ（平成28年度・調剤）

ジェネリック医薬品数量シェア推移



資料：後発医薬品利用状況 兵庫県国民健康保険連合会 調剤医療費の動向

■ ジェネリック医薬品の状況

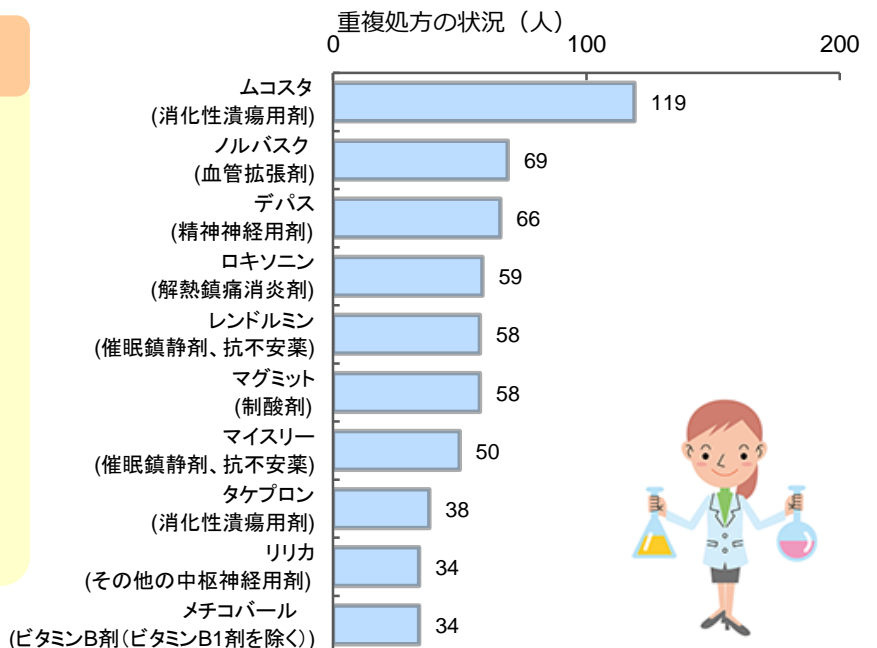
ジェネリック医薬品（後発医薬品）の数量シェアは増加しており、平成29年3月で66.5%となっています。

国が定めた目標は平成32年度までに80%となっていることから、今後も継続して普及に努める必要があります。

■ 重複処方の状況

1ヶ月間に複数の医療機関から同成分の医薬品を処方されている事例が多く見受けられます。代表的な薬剤として、消化性潰瘍用剤や血管拡張剤などとなっています。

※図表は先発医薬品名で記載していますが、同等の医薬品（後発医薬品等）も含まれます。



資料：レセプトデータ（平成28年度、医科入院外・調剤）



明石市の健康課題

明石市民の健康寿命の延伸と医療費の適正化を目指すために

課題内容

健康課題① 自身の健康状態の把握が必要です

- ・明石市では特定健診やがん検査の受診率が低く、自身の健康状態を知らないまま、たくさんの方が日常生活を送っています。健診（検診）を受診し、現在の身体の状態に関心を持ちましょう。
- ・健康に長生きするため（健康寿命の延伸）には、定期的な健康管理が重要です。

取り組み

- ・特定健診の案内や実施環境を充実させます。ご案内方法も工夫します。あかし保健所を中心に健診会場の充実を図ります。
- ・人間ドック受診費用の約7割を助成します。

目標

特定健診受診率 60%

課題内容

健康課題② 生活習慣病の治療や改善が必要です

- ・生活習慣病の中でも、高血圧性疾患、脳血管疾患、糖尿病が上位を占めています。これらは、介護保険制度における要介護認定者にも多い疾病となっています。
- ・生活習慣病のリスクが見つければ、生活習慣の改善に取り組み、かかりつけ医に相談しましょう。

取り組み

- ・特定保健指導の利用案内を工夫し、特定保健指導の利用環境を充実させます。
- ・かかりつけ医と連携をはかり、保健指導を充実させます。
- ・生活習慣病の重症化予防に取り組みます。

目標

特定保健指導利用率 60%





課題内容

健康課題③ 骨折や筋力低下の予防が必要です

- ・明石市の要介護認定者有病状況では、筋・骨格系疾患が半数以上を占めています。
- ・骨折・関節疾患は、入院を長期化させ、生活に大きな影響を与える疾病と考えられます。

取り組み

- ・骨粗しょう症予防に取り組み、骨密度測定機会を増やします。
- ・地域総合支援センター等と連携を図り、地域での健康づくり活動を支援します。

目標

骨密度測定経験者の増加
連携機関先の拡充

課題内容

その他の課題 医薬品を適正に使用することが必要です

- ・調剤費は年間で約35億円です。適正使用により調剤費の増大を抑制し、医療費の適正化につなげます。
- ・医薬品を適正に使用することで身体への負担を和らげると同時に、経済的な負担の軽減につなげます。

取り組み

- ・ジェネリック医薬品の普及を推進します。
- ・お薬手帳の利用や医薬品適正使用についてのPRをします。

目標

ジェネリック医薬品数量シェア80%
医薬品にかかる患者負担の軽減

発行 明石市 市民生活局 市民生活室 国民健康保険課

〒673-8686

明石市中崎1丁目5番1号

TEL 078-918-5021

FAX 078-918-5105

平成30年3月発行